

平成24年2月

高田美樹 学位論文審査要旨

主 査 清 水 英 治
副主査 稲 垣 喜 三
同 松 浦 達 也

主論文

難治性肺線維性疾患におけるPeroxioredoxin-6 (PRDX-6)の発現に関する検討

(著者：高田美樹、橋本潔)

平成24年 米子医学雑誌 掲載予定

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、肺線維症モデル動物（BLMモデル）の気管支肺胞洗浄液を用いたショットガンプロテオーム解析を行い、さらに難治性肺線維性疾患患者の肺生検組織を用いた免疫組織化学的検討を加え、線維化の進展、増悪に関与する分子の検討を行ったものである。その結果、BLMモデルでのPRDX-6の発現はNCと比較し有意に低値であり、BLMモデルでのPRDX-6の発現は線維化の比較的軽度な段階で一旦低下し、高度になると再度上昇した。また難治性肺線維性疾患患者の肺生検組織におけるPRDX-6陰性例は陽性例と比較し有意に予後不良であるとの結果を得た。本論文の内容は、難治性肺線維性疾患において抗酸化作用のあるPRDX-6抑制状態が線維化の進展に関与していることを示しており、PRDX-6の活性化が難治性肺線維性疾患における新たな治療標的となりうる可能性を示唆するものであり、呼吸器学の分野で明らかに学術水準を高めたものと認める。